



発行日 2019. 6. 21

生活クラブ連合会
TEL:03-5291-6700
FAX:03-5285-1839

★今年も春の遅霜など気候不順！作物の生育への影響が心配です！

春の夢都里路くらぶの企画に参加された方から、今年の産地の気象状況や産地の様子など、現場で感じた生の声がたくさん届きました。

●「傾斜で足を踏ん張って脚立に上がる」歴史ある里山で柿の摘蓄体験（王隠堂農園）

・過疎地や農業の現状、農家が生きていくために工夫していることなど知らなかったことを沢山教えていただきました。（奈良、20代女性）



柿の摘蓄の作業

・生産者の方の交流に参加すると、まるで家族のような信頼関係を感じます。組合員の私も、親戚の家の手伝いに来ているような感覚になり、そのような生産者さんを大切に守っていきたくて改めて思います。同じ消費材でも 会って大変さを体験した後では美味しさが違うように思います。（大阪、40代女性）

●「有機栽培は年中作業に追われる！」新茶の手摘み作業（株）新生わたらい茶）

・手摘み作業のベテランさんは高齢の方が多く、極々一時期に重なる数日の手摘み作業に人員を確保するのは難しいのでは？と感じた。果菜の収穫に比べて作業的に軽作業だと思われがちだがやはり有機栽培ということで年中作業に追われていることがわかりました。（大阪、50代女性）

●「農作業で味わえる自然の醍醐味を実感！」合鴨農法有機米のネット張り（JA加美よつば）



害獣を防ぐネットはり

・合鴨を放す田んぼの周囲に、害獣の侵入を防ぐネットを張り、またその上にカラス除けのテグスを張る作業です。1日目は あらかじめ田んぼの周囲に立てられたポール（支柱）に、パッカー（留め具）を用いて ネットを固定する

作業。2日目は 田んぼの反対側のポールへとテグスを渡すように張り、カラス除けとする作業でした。5月としては記録的な30度超の炎天が続く中、時折吹く涼しい風が 感動する程ありがたく、これは農作業をしなければ味わえない自然の醍醐味なんだな、と実感しました。「援農」とはこういうものか、と（私にとっては）その重労働に驚きました。（東京、60代女性）

●「採蜜は内容が濃い。このような企画があれば参加したい！」採蜜援農（株）スリーエイト）

・採蜜は短い春の期間に集中して行う必要があるの、役に立っていることを実感できました。今回初めてで、ほかの2名がベテランで、安心して作業ができました。（兵庫、70代男性）



アカシアの花

・6月の安曇野、白馬地方は水田に苗が植えられ、残雪が残る山々そして早朝の霧が立ち昇る高瀬川等自然大好き人間にとっては最高の場所です。そんな場所で取れた蜂蜜の味は、参加した人しか味わえない至高の味です。例年この時期白馬地方はアカシアの花で真っ白になり香りもするのですが、今年はほとんど咲いておらず、遅霜にやられたのかもしれないと聞きました。天候に左右される養蜂業です。男5人の協働作業は楽しく、夜は蜂蜜の話で時間を忘れて大いに盛り上がりました。このような場所で取れた蜂蜜を多くの方に味わっていただきたいです。（東京、70代男性）

・採蜜の手伝いは、今回で11回目。奥が深くやりがいを感じます。春の遅霜でミツバチの蜜源であるアカシアも被害を受け、花が咲かない地域が続出。この5年間では、最悪の年ではなかろうか？何度参加しても発見することが多い（神奈川、60代男性）

★7月と9月の企画に空きあります！募集中です！

企画名	生産者	期間	募集	応募	残
 遊佐町共存の森で下草刈り	遊佐町共存の森運営協議会(山形県)	7月26日(金)~7月27日(土)	10	5	5
 紅玉の葉摘み作業	JAさくらんぼ東根大富支所(山形県)	9月8日(日)~9月15日(日)	5	3	2

★秋の夢都里路くらぶフェアのお知らせ♪ 秋の企画の紹介・生産者から作物や産地の話が聞けます
日時：8月31日（土）13時～16時 場所：生活クラブ連合会（新宿区新宿）

企画への申込・問い合わせは、夢都里路くらぶ TEL:03-5291-6700 まで 次号発行予定 7/20ごろ